

## 福岡県後期高齢者医療広域連合による実績報告

## (1) 現在の取組状況及び結果（\*別添帳票参照）

① 発送枚数：10,000 通／毎月

② 通知期間：毎月

③ 通知対象者の要件

i) がん、精神疾患を除く

ii) 公費負担の受給者は除く

iii) GEに切り替えた場合の削減見込額が大きい順に 10,000 名に通知。

・結果として差額 200 円以上の方に送付している。

・恒常的に服用されている薬を対象とするため、処方日数 28 日以上のものに限り算定している。（外用薬はすべて対象になってしまう。）

iv) 同一人に通知するのは年度に 1 回

④ 切替者数：95,518 人 \*運用開始から平成 26 年 11 月診療分までの累計値

⑤ 切替割合：40.9 % (95,518 / 233,757 人 (累計通知者数))

## (2) ジェネリック希望カードの配布状況

① 各市町村窓口据え置き部数：15,000 枚

② 年齢到達者に保険証と併せて郵送：52,000 枚

③ 広報誌の切り取り式（全被保険者へ郵送）：60 万枚

## (3) 講習会・研修会等の開催実績：なし

## (4) 被保険者からの意見及び要望：

① 基本的に通知への問い合わせは、委託契約に従って、国保連（受託者）が設置するコールセンターで対応している。

② 本広域連合の問い合わせセンターへの苦情として、「なぜ、医学知識のない被保険者に判断させようとするのか。患者は医師に言い切らない。役所なりが、GEを使うよう直接、医師を指導してほしい。」という趣旨のものが最も多い。

## (5) 保険者の抱えている課題及びその対応：

○ 公費負担の受給者に対してもジェネリック利用案内通知を出すことを検討している。

\*この場合、個人の自己負担額軽減にはつながらないと思われるが、保険財政への貢献を呼びかける文言を平成 27 年度からジェネリック希望カードに加えている。

\*公費分担分の削減額の見込等は集計できていない。

## (6) 今後の方針

① 本広域連合の「第 2 期健康長寿医療計画」において、平成 29 年度まで通知事業の継続を決めている。

② 目標削減額：毎年度 3.6 億円以上

③ 本広域連合の被保険者におけるジェネリック医薬品の普及率（数量ベース）の目標として、「福岡県医療費適正化計画」に定める数値目標 40 %（旧指標）の達成を掲げている。

④ 平成 30 年度以降の取組みについては未定である。